

[7] 城東区南部・鶴見区

- 60 鳴野古戦場跡：大坂冬の陣最大の激戦地跡で、木村重成が初陣し、後藤又兵衛と共に奮戦している。(城東区鳴野東三丁目16、城東小学校東門内側)
- 61 旧野崎道の跡：京街道から分かれて野崎観音(慈眼寺)へ向かう街道がこの辺りを通っていた。(城東区今福南二丁目、今福小学校校門西側)
- 62 阿運速雄神社：門前右側のお蔭灯籠は、江戸時代に盛んであった伊勢参り(お蔭参り)の道筋に建てられたもので、市内に残る唯一のものである。(鶴見区放出東三丁目31)



凡 例	
—	歴史の散歩道
—	その他の経路
●	史跡等
●	その他の施設
—	鉄道及び駅

お願い

歴史の散歩道は、安全・快適に歩けることを第一に経路を設定していますが、中には交通量の多い道路もありますので、十分注意してお歩きください。また、日差しの強い季節の散策には帽子の着用をお勧めします。

なお、地図に示した史跡等の位置は、このしおり作成時点のもので、その後建物の建て替えなどで別の場所に移っている場合もあります。



61 旧野崎道の跡

サイン柱とつたい石

歴史の散歩道には散策の助けとなるよう、「サイン柱」と「つたい石」の設置を進めています。これを目印にお歩きください。

旧タイプ

新タイプ

[1] 此花区

- 1 **重修桜堤碑**：このあたりは春日出新田という干拓地で、桜堤を築いて浸水を防いでいた。その経緯を記した記念碑である。（此花区春日出中三丁目1、春日出共同墓地南東隅）
 - 2 **正連寺**（此花区伝法六丁目4）
 - 3 **日本鑄鋼所跡**：わが国で最初の本格的な平炉を持つ製鋼所として、八幡製鉄所より2年早い明治32年(1899)に操業を開始した。（此花区伝法三丁目、伝法小学校正門内）
 - 4 **八洲軒の跡**：春日出新田会所の庭園で、兵庫、京都、和歌山など、八方が見渡せる眺望のいいところから名づけられた。建物は一部横浜へ移築されて重要文化財に指定され現存するが、他は戦災で焼失した。（此花区春日出南一丁目3）
 - 5 **大阪鉄工所跡**：明治14年(1881)、英国人ハンターによって創設された造船工場で、6馬力の蒸気機関を備えた最新鋭の工場であった。その後桜島に移転し、日立造船へと発展していく。（此花区西九条七丁目、春日出橋南詰）
- A **安治川とんねる**：昭和19年(1944)に完成した河底トンネル。当時としては最新の土木技術を駆使した画期的な施設であった。近年、交通事情の変化等で車道の使用は行われなくなったが、歩道は身近な地域の足として今も多くの人々に利用されている。
（此花区西九条一丁目～西区安治川一丁目）



1 正連寺



A 安治川トンネル

MEMO

京街道

豊臣時代に整備された街道で、大坂城の京橋口を出て野江、関目、守口を經由、そこから先は淀川に沿うように京へ向かう。大阪市内では当時の形態を残すところはあまりないが、関目神社付近には俗に「七曲り」と呼ばれた屈曲した道筋が残っており、昔を偲ぶことができる。

